

期日前投票の宣誓書について

菅野 恭子



〔質問〕近年、全国的に期日前投票人口が増加傾向にあり、受付では長時間待ちの現象が発生している。

このような中、期日前投票に必要な宣誓書を投票所入場券の裏面に印刷し、投票所入場券と一体にして、有権者に送付する選挙管理委員会が増えている。

宣誓書記入を事前に行うことで、受付の混雑緩和はもろろん、期日前投票に対する有権者の負担軽減にもつながるとしている。

本市においても、期日前投票の速やかな推進のために、ぜひ実施すべきと考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕【選挙管理委員会事務局長】宣誓書と投票所入場券の一体化を実施している自治体によれば、効果がある反面、紙面的に文字が小さくなり、見えにくいという課題もあるとしている。

本市では、本年7月実施の選挙から、投票所入場券にバーコードを導入することから、このバーコードによる期日前投票の混雑緩和への効果を見た上で、一体化については検討をしていきたい。

〔質問〕市ホームページへの掲載、また、公民館などへの備え付けにより、宣誓書用紙の事前入手を可能にしてはどうか。

〔答弁〕【選挙管理委員会事務局長】宣誓書の事前記入は効果的と考

えるので、市ホームページへの掲載の他に、市の総合窓口や各公民館などで配布できるようにしたい。

◎乳児用液体ミルクの災害時活用について

〔質問〕今年3月、国産の乳児用液体ミルクが販売され、備蓄導入する自治体が増えている。本市において、備蓄が難しいのであれば、災害時の優先搬入を導入してはどうか。

〔答弁〕【市長】本市と業者間で締結している「災害時における応急生活物資の供給協力等に関する協定書」の物資リストに加える検討をしていきたい。

◎学校体育館へのエアコン設置導入について

◎マンホールトイレ導入について

◎季節性インフルエンザ予防ワクチン接種の助成対象者の拡大について

自治体RPAについて

菊地 忠久



〔質問〕RPAとは「Robotics Automation」の頭文字をとった略語で、人間が手作業で行なっている定型的なパソコン操作をソフトウェアロボットに代行させ、作業を自動化する技術、取り組みである。

入力や登録などの単調な定型作業を代替することで、業務効率が大幅に向上できる効果があり、少子高齢化に伴う職員不足や働き方改革にも対応できることから、導入する自治体が増えている。

RPA導入に課題があるとすれば、どのようなことが考えられるか

伺う。

〔答弁〕【行政改革推進室長】全庁的な推進体制の確立や、対象事業の洗い出しのための業務フロー作成が必要である。

本市の行政規模において、どの業務に対して、どのようなプロセスで導入することが効果的かなど、費用対効果や業務の効率化、継続性等の観点での検証が重要であると考えている。

〔質問〕本市でも早期にRPAを導入し、業務の効率化によって、住民サービスの向上につなげるべきだと考えるが、所見を伺う。

〔答弁〕【市長】RPAの導入による業務の効率化は、将来にわたって行政サービスの維持向上を図る上で有効な手段の一つである。

白石市行政改革推進計画集中改革プラン第4次改訂版においても、定型的な業務など事務事業全般にわたって見直しを図ることとしており、本市の目指すべき方向性と一致していることから、RPA導入に向けた検討を行なっていきたい。

〔質問〕現時点で、具体的にどういったことを検討するのか伺う。

〔答弁〕【市長】導入自治体がまだ少ないため、まずは情報を集めていきたい。

RPAの他にも、AIやIoTをいかに取り組んでいくことが、これからの行政運営の大きなテーマになってくると考えている。

導入自治体の取り組み状況を研究しながら、さまざまな角度から検討していきたい。

◎公園等の樹木や街路樹の管理について